

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第6回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）視察研修について

（2）今後の審議事項について

・その他（公開）

3 開催日時

令和5年9月28日（木）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：金澤信夫、君波豊、佐藤忠治（会長）、新保輝松、関清、土屋郁夫、
中野幹根、濁川清夏、俵木一松、俵木晴之（副会長）、細井雅明
（13名中11名出席）

・事務局：大潟区総合事務所 小池次長（総務・地域振興グループ長兼務）、布施教育
文化グループ長、平野市民生活・福祉グループ長、風間班長、水澤主任
（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【小池次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：君波豊委員に依頼

【小池次長】

協議に入る前に、「大潟野外活動施設廃止後の跡地の有効利用について」の意見書を提出した状況をお伝えする。9月25日の地域協議会正副会長打合せの前に社会教育課竹内副課長が来庁し意見書に対するついて進捗報告があった。「意見書の回答を提出するまでには関係課との調整や市長協議もあり、今回の地域協議会時には間に合わない。また、観光協会への貸付けを前提とした意見書であるが、観光協会との意見交換もこれからであり意見を聞けていない。松くい虫関係の雑木の撤去については、農林水産整備課の所管であることから調整をしている。社会教育課としても、地域にとって必要なところと捉えており、何も管理せず荒れたままというわけにはいかないなので、今までどおりの環境となるように検討をしている。」などの説明を受けた。

【佐藤忠治会長】

協議事項に入る。(1) 視察研修についての協議を行う。事務局から説明を願う。

【風間班長】

資料No.1により説明。

【佐藤忠治会長】

まず、視察日を決めたい。11月17日金曜日と18日土曜日のどちらがよいか。

【君波豊委員】

金曜日がいい。

【佐藤忠治会長】

勤めている委員もいる。金澤委員はどうか。

【金澤信夫委員】

どちらも予定があり難しい。

【細井雅明委員】

私は土曜日の方が都合いい。

【佐藤忠治会長】

君波委員どうか。

【君波豊委員】

土曜日でも大丈夫である。

【佐藤忠治会長】

11月18日土曜日に決定していいか。

(一同了承)

【土屋郁夫委員】

当日は、昼食代の1,500円を自己負担すればいいのか。

【風間班長】

昼食代については自己負担していただきたい。越後まつだい里山食堂には見学できる部分もある。見学するのに別途300円掛かるが、空いた時間に見学してもらうかを調整中である。

【佐藤忠治会長】

出発は何時ころになるのか。

【風間班長】

9時15分頃の出発を考えている。NPO法人越後妻有里山協働機構から提案されているのは、9時15分に出発して、3時40分頃には大潟に戻ってくる日程である。正式な案内は後日送付させていただく。

【佐藤忠治会長】

では、11月18日に視察研修を実施する。

次に協議事項(2)今後の審議事項についての協議を行う。前回の会議において、残りの任期の中で協議したい内容を考えてきてほしいとお願いした。皆さんの意見、提案をお聞きしたい。

【土屋郁夫委員】

これまで地域活動支援事業の中で購入された備品等が、その後きちんと管理されているか、有効活用されているかを総括しておきたいと思う。審議事項となるか分からないが、私たちが採択したものを確認しておいてもいいと思う。

【佐藤忠治会長】

どういった方法で確認するのか。アンケート調査をするのか、面談方式にするのか。

【土屋郁夫委員】

事務局と案を練ったほうがいいと思う。

【佐藤忠治会長】

過去には、印刷機や楽器の購入もあった。

【土屋郁夫委員】

事務局はどう考えるか。

【風間班長】

各団体に確認する時間が取ればできると思う。正副会長と相談したうえで確認方法を決めていきたい。何らかの形で報告できればと思う。

【土屋郁夫委員】

そこがはっきりすれば審査した結果を任期中に確認できる。

【小池次長】

皆さんが審査した地域活動支援事業分ということでよいか。

【土屋郁夫委員】

それでいい。備品の今後の活用予定も聞いてほしい。使われなければ意味がない。

【小池次長】

有効に使っていただきたいという主旨かと思う。確認方法については、正副会長と事務局にお任せいただきたい。

【君波豊委員】

今の話は、この4年間の地域活動支援事業についてか。

【佐藤忠治会長】

そうである。

【君波豊委員】

自主的審議事項のテーマを決めたとき2番目の候補は北国街道についてであった。また、大潟区における地域活性化の方向性の構成要素の中でも北国街道という言葉が入っている。北国街道を審議事項としていいのではないか。

【佐藤忠治会長】

正副会長の打合せの中で、次期の地域協議会に向けて、地域活性化の方向性を深堀して意見交換するのもいいのではないかという話がでた。また、そういったことに取り組

んでいる団体や総合事務所の担当者に来ていただき、報告を受けて協議するのもいいのではないか。

【細井雅明委員】

あと半年しかない中で協議して結論を出すのは難しい。テーマは大きいかもしれないが大潟区の地域協議会のあり方について考えてみるのはどうか。その中で、次期委員のために問題点などを掘り下げておくのもいいのではないかと思う。

【関清委員】

海岸をどう復活していけるか、どのように伝えていくかは非常に大きな課題である。海岸線の利用の仕方を考えたい。海と私たちの暮らしを豊かなものにしていくためのアイデアを協議できたらいい。また、潟町宿について火防地蔵が非常に多いことに着目し、これをどのように伝えていくか、我々がどのように認識していくかを掘り下げたい。

【細井雅明委員】

土屋委員の提案に繋がるが、地域活動支援事業が終了して今年度から地域独自の予算になった。これについての評価や比較は来年度以降にしかできないが、長年やってきた地域活動支援事業を振り返って総括のようなことをしておくことも必要ではないか。

【関清委員】

上越市の人口動態や今後の減少数の予測が統計的に出ているが、それを見てぞっとした。10年後、20年後にどういった事態となるのか。人と人との関係も薄くなってきている。我々が置かれている状況を認識したいと思う。地域をどのように存続させていくかに繋がるテーマを見つけることも大事であると思う。

【佐藤忠治会長】

創造行政研究所長が、人口動態から持続可能な地域をどのように作っていくかという内容の講演をされた。要請があれば各地域に出向いて話をしたいと言っていた。前期の地域協議会では副所長から来ていただき、大潟区の人口動態からどのようなまちづくりが必要かの報告をしていただいたこともある。どういった課題があるのか認識を深めることも一つの方法である。半年しかない中で、同じテーマを二か月続けて協議するわけにもいかないの、一月ごとにテーマを変えて報告を受け、認識を深めてもよい。提案された意見を整理して、次回の地域協議会でどれから始めるか協議したいと思う。

【君波豊委員】

期限を気にする必要はないと思う。地域活性化の方向性については、構成要素を挙げたが細かい議論はしていない。具体的なことには何も触れていなくて無責任な話だと思う。今ここにいるメンバーで話し合える内容があれば、それが結果的に中途半端で終わったとしても過程が大事であると思う。テーマを決めたら、答えや結論を気にせずに話し合っていけばいいと思う。ただ、地域活動支援事業の総括については議会総務常任委員会での内容を議事録で確認すればいいだけではないかと思う。議会では、地域活動支援事業を酷評している。地域協議会にお金が絡むことを議論させること自体が問題であるという取り上げ方をしている。これについては地域協議会が反論してもいいと思う。だが既に地域活動支援事業は終了していて、地域独自の予算に方向を変えている。地域独自の予算を上手く使って、地域を活性化していく方向を探っていく方がいいと思う。残念なことに地域協議会では地域独自の予算についてあまり取り上げてこなかった。

【佐藤忠治会長】

地域活性化の方向性を深掘りする意見交換を行いたいと思う。提案された意見をまとめて、次回の地域協議会までに皆さんにお示しして、どれから始めるか協議したいと思うがよろしいか。

(一同了承)

その他に入る。総合事務所から連絡事項はあるか。

【風間班長】

地域自治区の推進に向けたアンケート調査の結果を示してほしいとの要望をいただいていたが、全市的な調査であり、取りまとめている最中である。今ほどの議論の中でも出てきた地域協議会のあり方等にも関連するため、なるべく早い時期にお示ししたい。

【佐藤忠治会長】

委員から連絡事項はあるか。

【君波豊委員】

お願いになる。大潟野外活動施設の中の雑木処理についてだが、農林水産整備課が担当しているとのことである。松くい虫の被害のあった木を処理したものをそのまま放置してある。私が雑草処理して整備に携わっている砂防林にも残置処理されている。これは、県に話をしないと解決しないと思う。まず大潟野外活動施設の処理をしていただき、

その後各町内の保安林に残置されている伐採材の処理を働きかけていただきたい。くびき野森林組合は、伐採材を粉砕する機械を2台持っている。我々が砂防林を綺麗にしようとしても危険で入れない。ぜひ県に訴えていただき残置処理されているものを撤去していただきたい。

【関清委員】

鵜の浜の保安林では、松くい虫の被害がある木を切るだけで植栽等がされておらず、松が疎らで無残な状態である。復興計画等はどうなっているのか知りたいところである。

【小池次長】

この件に関しては、大潟野外活動施設廃止後の跡地の有効利用についての意見書の中でも出されている。まずは所管課からの回答をお待ちいただきたい。所管課の考え方や事情がある話なので、回答を確認してから論議いただきたいところである。

【佐藤忠治会長】

他に連絡等がなければ次回の協議会の日程案について事務局から説明願う。

【小池次長】

第7回地域協議会を10月26日木曜日午後6時30分から開催する。11月以降の開催は祝日等の関係で、11月は22日水曜日、12月は21日木曜日に開催予定となるので確認いただきたい。

【佐藤忠治会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。